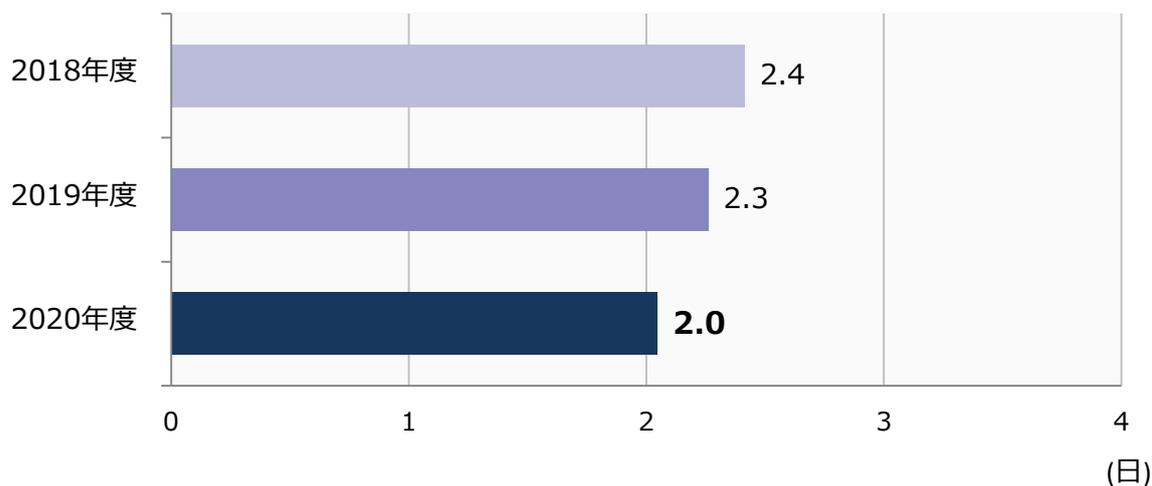


輸液ポンプ・シリンジポンプ故障時の院内修理に要した平均日数

各病棟から輸液ポンプ・シリンジポンプ故障時の修理依頼を受けていますが、実際に修理を受けてから修理完了までに要する平均院内修理日数を把握して、稼働可能状態（アベイラビリティ）を保持することを目的とした指標です。

修理のため事前に体制が整った準備がなされているか、修理する技術者の能力などの指標となります。この値が小さいほど、アベイラビリティが高いということになります。



当院値の定義・算出方法

分子： 修理依頼を受けた日から、修理完了までの総日数

分母： 院内各病棟から修理依頼を受けた輸液ポンプ・シリンジポンプの総件数 (日)

結果の考察および今後の取り組み

メーカー技術研修会参加、統一した修理技術指導により、個人スキルの向上に取り組みました。

文責：臨床工学部室長
福澄 洋一